

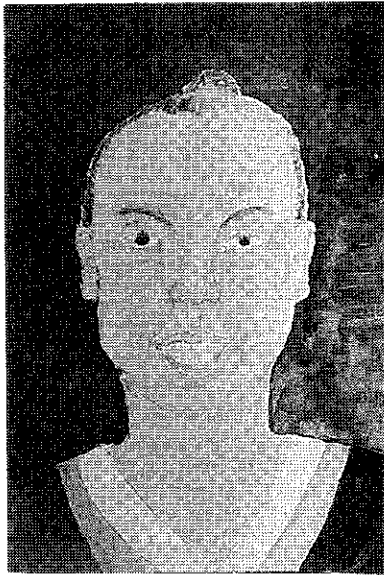
☆☆

山本徳人くん（作文）・駒田ほし美さん（絵画）が大賞に

☆☆

士清作文・絵画コンクール表彰式

3回目を迎えた「ことすがコンクール」は、今回は作文（小学生対象）と絵画（小・中学生対象）の募集。1月31日の審査会を経て、入賞者の表彰式を2月21日（土）津市八町の谷川士清の旧宅で開催した。旧宅へは小学生はお母さんやお父さんたちと一緒に来ている子が多く、今度初めてという子もあった。畳敷きの部



—士清大賞—
駒田ほし美さん

屋で、賞別、部門別に座布団に座ってもらったが、受賞の時足がしびれて立てなくなった子もあったようだ。

当会の森晋代表と田中彌津市教育長から受賞者一人一人に表彰状と副賞の図書券が渡された。

作文の部では、南立誠小4年の山本徳人君の「谷川士清」が、絵画の部では橋南中3年の駒田ほし美さんの「谷川士清像」が、最優秀の士清大賞に選ばれた。（写真）

その他の賞の表彰の後、作文・絵画の各部門の審査員代表から次のような講評があった。

作文では審査員を代表して竹内令さんは「大賞の山本君の作文は、50音順に並べた国語辞典を使っているときの便利さや言葉の訳がわかった時の嬉しい気持ち、旧宅に来て説明を聞いて感じた『谷川家の人々への感謝』の気持ち、それともっと谷川士清のことをみんなに知ってほしいなど実体験の感動をつづってあつてとても感心しました。市長賞の貝原君は疑問に思ったことをインターネットで調べたりして疑問を解いています。疑問というのは反古塚のことでした。士清は反古塚にどんな思いを託したのだろうと思ったそうです。教育長賞の玉城君は、士清さんと宣長さんとの文通をよかったなあと感じたそうです。『誰かに励ましてもらったり、認めてもらったりするのは一人でいるより違うと思った』と書いています。素晴らしいことに気がつきましたね」など丁寧に語りかけるように講評された。

会顧問で日展作家（洋画）でもある谷岡経津子さんは、「大賞の駒田さんの絵は50歳ごろの士清さんの顔で、イメージの中の若い士清さんをきりっと表現していてよかった。市長賞の絵は伊賀街道沿いのこの旧宅を熱心に写生した絵です。教育長賞は士清さんのふくよかな顔が描かれています。選にはいった人以外にも、その子の目で発見した感動が出ているものがありました」と講評して下さった。

教育長賞を受ける玉城君



教育長賞を受ける玉城君